

【技術分類】 1 3 - 2 - 1 自動車ブレーキシステム / 常用ブレーキ / 液圧式

【 F I 】 B60T 1/06、B60T 7/04、B60T 11/10-11/34、B60T 13/00-13/74、B60T 17/04

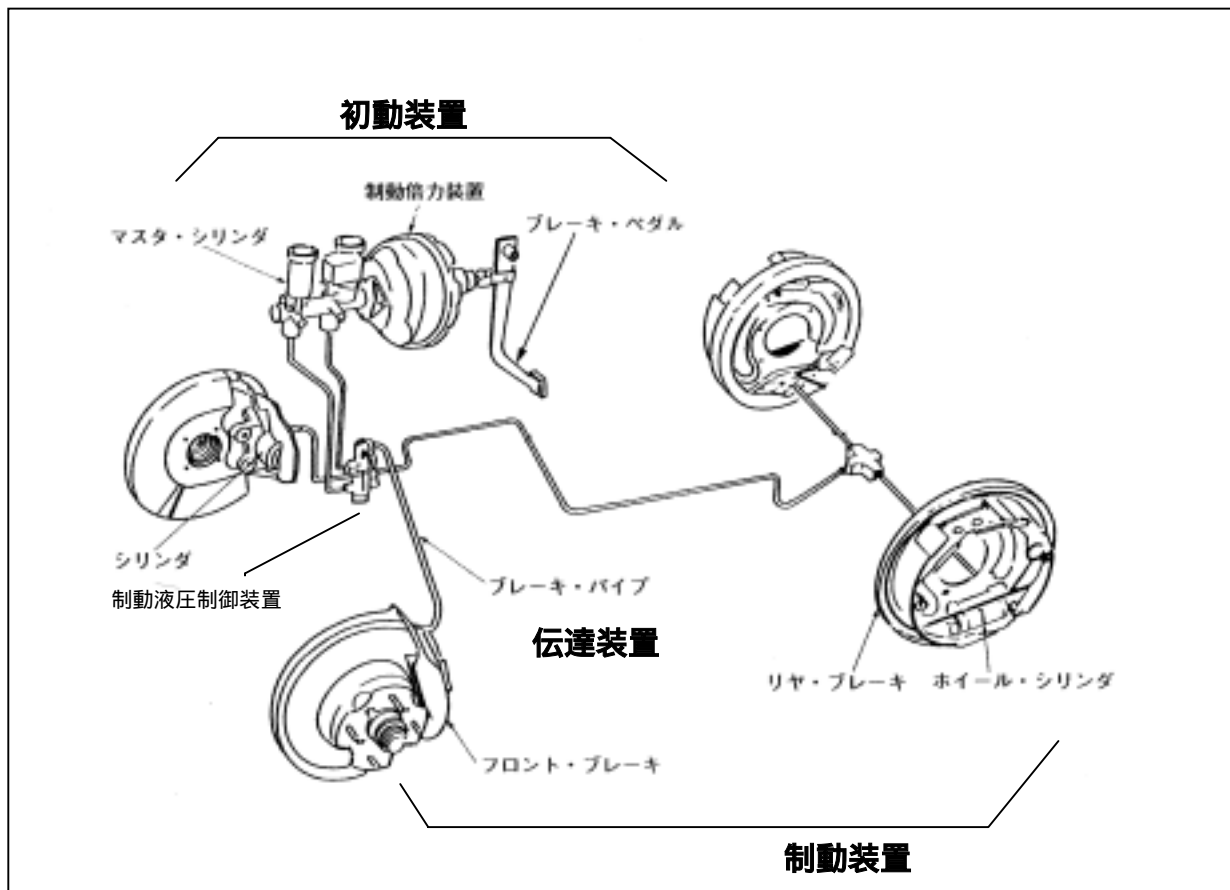
【技術名称】 1 3 - 2 - 1 - 1 液圧式ブレーキシステム

【技術内容】

下図は液圧式ブレーキ装置の代表的な構成を示したものである。大別すると、ドライバがペダルを踏んでブレーキ液圧を発生させる初動装置、ブレーキ液圧を各輪に伝える伝達装置、制動力を発生するために各輪に取り付けられた制動装置からなる。

初動装置においては、ブレーキペダル踏力を低減するための制動倍力装置（ブレーキブースタ）が一般的に用いられている。伝達装置はマスタシリンダで発生した液圧を各輪のシリンダに導くものであるが、途中で制動液圧制御装置やアンチスキッド装置を介在させ、色々な状況に合わせてブレーキ液圧を最適に制御することが行われている。制動装置は各輪において制動力を発生させるもので、以前は前後輪ともドラムブレーキであった。しかし制動時のフィーリング向上と放熱性の点から、乗用車では前輪は殆どがディスクブレーキを用いている。後輪についてはまだドラムブレーキが多いが、スポーツタイプの車など後輪もディスクブレーキを用いる車が多くなっている。

【図】 液圧式ブレーキシステムの構成



出典：「シャシ構造 2-3 訂（自動車教科書）」、（2004/4/5）全国自動車整備専門学校著、山海堂発行
頁 7-図 6-4

【出典 / 参考資料】

「シャシ構造 2-3 訂（自動車教科書）」、（2004/4/5）全国自動車整備専門学校著、山海堂発行